

ふりがな 氏 名	こまがた じゅんや 駒形 純也	職 名	助教
取 得 学 位	博士(医科学)	学会での受賞歴	特記事項なし
主な担当科目	運動器障害理学療法評価学実習		
所 属 学 会	日本神経理学療法学会、日本生理学会、日本神経科学学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
Active Learning の活用(健康科学大学)	平成 30 年 9 月～令和 4 年 3 月	理学療法の実施に必要な基礎的な実技を学習し、その技術をどのように臨床で応用していくか議論するグループワークを行い、理解を深めた。
仮想現実(Virtual Reality:VR) の活用 (健康科学大学)	平成 30 年 9 月～令和 4 年 3 月	VR 技術を活用した講義を行った。VR 技術を用いることにより、臓器を立体的に捉えることができ、人体への理解を深めることに繋がった。
課題解決型学修の実施(健康科学大学)	平成 30 年 9 月～令和 4 年 3 月	臨床実習で担当した患者情報から、少人数制のグループで意見交換・討論を行い、様々な症例に対する理解度を高めた。
授業の要点をまとめた配布資料の作成 (健康科学大学)	平成 30 年 9 月～令和 4 年 3 月	授業毎に要点をまとめた配布資料を作成し、予習・復習の際に使用できるように配慮した。教科書に十分記載されていない内容や研究結果から得た知見について紹介し配布資料の作成を行った。
ポートフォリオの作成指導(健康科学大学)	平成 31 年 4 月～令和 4 年 3 月	見学実習に際して、事前学習や事後学習の内容を加えてポートフォリオの作成を行い、事前に立案した実習の目標に対する達成度の確認を行った。
ルーブリック評価表の活用(健康科学大学)	令和 1 年 9 月～令和 4 年 3 月	ルーブリック評価表を作成し、レポートや実技試験の採点に用いた。ルーブリックを用いることにより、学生が学習目標を明確に把握でき、学習の意欲、授業への参加度を高めた。
卒業研究指導(健康科学大学)	令和 2 年 3 月～令和 3 年 3 月	視運動性刺激がスクワット動作時の筋活動に与える影響というテーマにて卒業研究の指導を行った。論文抄読、データ測定、論文作成など指導全般を行った。
客観的臨床能力試験の課題作成(健康科学大学)	令和 2 年 9 月～令和 3 年 3 月	客観的臨床能力試験の運営および試験内容の監修を主担当として携わった。臨床実習に向けて、運動器系疾患、神経系疾患に対する評価、治療の知識・技術を向上できるよう課題の設定を行った。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	Effect of optokinetic stimulation in the virtual reality environment on weight bearing shift during gait movement in healthy subjects	共	令和2年3月	International Journal of Physical Medicine & Rehabilitation 2020;8: 1-8	<u>Junya Komagata</u> , Atsushi Sugiura, Hiroshi Takamura, Toshihiro Kitama
	臨床実習実施後の主観的満足度は学生の Motivation のタイプにより関連する尺度が異なる－主観的満足度と Academic motivation scale を用いた縦断的観察研究－	共	令和2年5月	リハビリテーション教育研究 2020;26	坂本 祐太, 藤田 大輔, 玉木 徹, <u>駒形 純也</u> , 三科 貴博, 高村 浩司
	Wearing a surgical mask does not affect the anaerobic threshold during pedaling exercise	共	令和2年6月	Journal of Human Sport and Exercise 2020;17:1-7	Atsuya Otsuka, <u>Junya Komagata</u> , Yuta Sakamoto
	Effect of optokinetic stimulation on weight-bearing shift in standing and sitting positions in stroke patients	共	令和2年9月	European Journal of Physical and Rehabilitation Medicine, 2021 57:13-23.	<u>Junya Komagata</u> , Atsushi Sugiura, Hiroshi Takamura, Akio Ohta, Toshihiro Kitama
	理学療法学生の職業的アイデンティティと進学に対する動機づけの関連性	共	令和4年12月	理学療法科学	藤田 大輔, 高村 浩司, <u>駒形 純也</u> , 玉木 徹, 坂本 祐太, 三科 貴博
学会発表	Gait characteristics under optokinetic stimulation with virtual reality (ポスター発表)	共	平成30年7月	第41回日本神経科学大会(神戸)	<u>Junya Komagata</u> , Atsushi Sugiura, Hiroshi Takamura, Toshihiro Kitama
	視運動性刺激が静的姿勢バランスおよび歩行に及ぼす影響 (ポスター発表)	共	平成30年11月	第16回日本神経理学療法学会学術大会(大阪)	<u>駒形 純也</u> , 高村 浩司, 杉浦 篤志, 清水 大介, 児玉 歩未, 北間 敏弘
	Leg muscle activity during postural control under optokinetic stimulation in healthy subjects (ポスター発表)	共	令和1年3月	The 9th Federation of Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (Kobe)	<u>Junya Komagata</u> , Atsushi Sugiura, Hiroshi Takamura, Yujiro Masu, Toshihiro Kitama
	Stabilometric analysis in stroke patients under optokinetic stimulation (ポスター発表)	共	令和1年7月	第42回日本神経科学大会(新潟)	<u>Junya Komagata</u> , Atsushi Sugiura, Daisuke Natori, Keita Asai, Hiroshi Takamura, Toshihiro Kitama
	Effect of optokinetic stimulation using a see-through head-mounted display on weight	共	令和2年7月	第43回日本神経科学大会(web開催)	<u>Junya Komagata</u> , Atsushi Sugiura, Toshihiro Kitama

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	balance during gait movement in healthy subjects (ポスター発表)	共	令和3年7月	第44回日本神経科学大会(神戸)	Junya Komagata, Atsushi Sugiura, Atsuya Otsuka, Toshihiro Kitama
	Postural stability and gait during optokinetic stimulation with a see-through head-mounted display in normal subjects (ポスター発表)				
	Poster presentation effects of optokinetic stimulation with a see-through head-mounted display on postural stability and leg muscle activity (ポスター発表)				
	Lower limb muscle activity during squat exercise under optokinetic stimulation with a head-mounted display (ポスター発表)				
そ の 他 (報告書)	脳卒中患者の荷重偏移改善のための新たな治療方法	共	令和2年12月	BIO Clinica 35(14) 1337-1342	駒形 純也, 杉浦 篤志, 高村 浩司, 太田 昭生, 北間 敏弘
	福祉・医療の現場から 脳卒中患者のバランス機能改善のための視覚情報を用いた新たな治療方法	共	令和3年12月	地域ケアリング 23(11) 76-79	駒形 純也, 杉浦 篤志, 北間 敏弘